



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月10日

上場会社名 株式会社アミファ 上場取引所 東
コード番号 7800 URL <https://www.amifa.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 藤井 倫三
問合せ先責任者（役職名） 執行役員経営企画室長（氏名） 堀内 亨 TEL 03（6432）9500
兼 経理部長
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第3四半期の業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年9月期第3四半期	7,325	7.9	723	319.0	706	389.4	774	916.4
2025年9月期第3四半期	6,790	1.0	172	—	144	—	76	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	246.97	—
2025年9月期第3四半期	25.24	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年9月期第3四半期	4,211	2,854	67.8
2025年9月期	3,671	2,141	58.3

（参考）自己資本 2026年9月期第3四半期 2,854百万円 2025年9月期 2,141百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	26.00	26.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	9,000	1.8	620	129.4	600	150.8	680	249.6	215.46

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 6 ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年9月期3Q	3,235,000株	2025年9月期	3,235,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2026年9月期3Q	16,439株	2025年9月期	216,439株
------------	---------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年9月期3Q	3,135,045株	2025年9月期3Q	3,018,561株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(第3四半期累計期間)	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策により、景気は緩やかな回復基調がみられるものの、インフレや円安による物価上昇の継続による影響は大きく、加えて中東情勢の緊迫化によるエネルギー価格や物流への影響が懸念されるなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

こうした環境下、当社は、クリスマス、バレンタインなどのイベントをはじめ、新企画や新商品の提案に積極的に取り組み、主要顧客である均一価格ショップ各社に向けてライフスタイル商品の販売に注力し、売上高は前年同期を上回りました。また、損益につきましては、円安環境が継続する中でも売場提案力の強化や売れ筋商品の集中などによる販売と継続した原価低減等により、前年同期を大きく上回り大幅な増益となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績の概要は以下の通りであります。

(千円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当第3四半期累計期間	7,325,041	723,536	706,261	774,272
前第3四半期累計期間	6,790,448	172,668	144,301	76,179
増減額	534,593	550,868	561,960	698,093
増減率(%)	7.9	319.0	389.4	916.4

売上高は、前年同期比534,593千円増(7.9%増)の7,325,041千円となりました。

これは、クリスマス、バレンタインなどのイベント関連商品の販売が堅調に推移したことに加え、シール類を中心とした文具類の販売が好調に推移したことによるものです。

なお、当第3四半期累計期間における当社のライフスタイル商品の商品群別累計売上高は、下表の通り、「NB商品」が5,898,408千円(前年同期比16.6%増)、「PB商品」が1,426,633千円(前年同期比17.6%減)となりました。当事業年度より、中期経営計画に掲げる「ブランド価値に基づく差別化・収益力強化」に沿った数値を開示しております。これに合わせ、前年同期も上記に沿った数値を開示しております。

- ・NB（ナショナルブランド）：当社独自のブランド名（主に「amifa®」）で販売。
- ・PB（プライベートブランド）：得意先のブランド名で販売。企画と製造、もしくは製造のみを当社が担う。

(千円)

	NB商品	PB商品	合計
当第3四半期累計期間	5,898,408	1,426,633	7,325,041
前第3四半期累計期間	5,060,099	1,730,349	6,790,448
増減額	838,309	△303,716	534,593
増減率(%)	16.6	△17.6	7.9

円安環境が継続する中でも売場提案力の強化や売れ筋商品の集中などによる販売、継続した原価低減および前年同期に計上した商品在庫の評価損が当第3四半期累計期間は大幅に減少したこと等により、売上原価率は5.5ポイント改善したこと等により、営業利益は大幅に改善しました。以上の結果、営業利益は、前年同期比550,868千円増(319.0%増)の723,536千円となりました。

経常利益は、前年同期比561,960千円増(389.4%増)の706,261千円となりました。

営業外収支は、前年同期には為替差損22,809千円を計上しましたが、当第3四半期累計期間は為替差損13,223千円と減少したことにより、経常利益の増益幅は営業利益の増益幅に比べ拡大しました。

また、当第3四半期累計期間に本社移転に伴う移転補償金490,000千円を特別利益に計上し、本社移転費用83,034千円を特別損失に計上しております。

以上の結果、四半期純利益は、前年同期比698,093千円増(916.4%増)の774,272千円となりました。

なお、当社の事業は、ライフスタイル商品事業の単一セグメントであるため、セグメントの記載をしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は3,927,424千円となり、前事業年度末に比べ469,140千円増加いたしました。これは主に現預金が560,284千円増加しましたが、受取手形及び売掛金が74,956千円減少、棚卸資産が62,504千円減少したことによるものです。固定資産は284,195千円となり、前事業年度末に比べ71,440千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が49,431千円増加、投資その他の資産が33,157千円増加したことによるものです。

この結果、総資産は、4,211,619千円となり、前事業年度末に比べ540,580千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は962,566千円となり、前事業年度末に比べ73,693千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が206,137千円増加しましたが、買掛金が35,243千円減少、短期借入金が100,000千円減少、1年内返済予定の長期借入金が48,633千円減少、未払金が94,672千円減少したことによるものです。固定負債は394,581千円となり、前事業年度末に比べ98,785千円減少いたしました。これは主に長期借入金が101,066千円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は、1,357,147千円となり、前事業年度末に比べ172,478千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は2,854,472千円となり、前事業年度末に比べ713,059千円増加いたしました。これは主に四半期純利益774,272千円に加え、配当金支払78,482千円により利益剰余金が695,789千円増加、繰延ヘッジ損益が17,069千円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末に比べて9.5ポイント上昇し、67.8%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月15日に公表いたしました通期業績見通しの営業利益、経常利益および当期純利益は、当第3四半期累計期間において既に上回っておりますが、仕入れコストの上昇や継続する円安リスクも考慮し、現時点で変更はしておりません。

なお、配当につきましては、30円/株の配当予定に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	842,213	1,402,497
受取手形及び売掛金	808,703	733,747
電子記録債権	9,707	134
棚卸資産	1,725,787	1,663,283
その他	71,872	127,761
流動資産合計	3,458,284	3,927,424
固定資産		
有形固定資産	25,971	75,403
無形固定資産	55,276	44,127
投資その他の資産	131,507	164,664
固定資産合計	212,754	284,195
資産合計	3,671,039	4,211,619
負債の部		
流動負債		
買掛金	166,509	131,265
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	199,599	150,966
未払金	422,731	328,059
未払法人税等	88,488	294,625
賞与引当金	19,425	—
その他	39,505	57,648
流動負債合計	1,036,259	962,566
固定負債		
長期借入金	201,066	100,000
退職給付引当金	37,965	40,246
役員長期未払金	254,335	254,335
固定負債合計	493,367	394,581
負債合計	1,529,626	1,357,147
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,220	37,220
資本剰余金	273,586	142,786
利益剰余金	1,957,764	2,653,554
自己株式	△141,766	△10,766
株主資本合計	2,126,804	2,822,794
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	14,608	31,678
評価・換算差額等合計	14,608	31,678
純資産合計	2,141,412	2,854,472
負債純資産合計	3,671,039	4,211,619

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	6,790,448	7,325,041
売上原価	4,649,752	4,614,160
売上総利益	2,140,696	2,710,881
販売費及び一般管理費	1,968,027	1,987,344
営業利益	172,668	723,536
営業外収益		
受取利息	173	910
受取補償金	28	901
還付加算金	166	—
受取ロイヤリティー	1,200	—
その他	124	454
営業外収益合計	1,693	2,266
営業外費用		
支払利息	5,369	5,138
為替差損	22,809	13,223
固定資産除却損	37	—
その他	1,843	1,179
営業外費用合計	30,060	19,541
経常利益	144,301	706,261
特別利益		
移転補償金	—	490,000
特別利益合計	—	490,000
特別損失		
本社移転費用	—	83,034
特別損失合計	—	83,034
税引前四半期純利益	144,301	1,113,226
法人税等	68,122	338,954
四半期純利益	76,179	774,272

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2025年11月14日取締役会決議及び2025年12月25日開催の第55期定時株主総会の承認に基づき、2026年1月23日付けで公益財団法人アミファ・デザイン・アート振興財団に対する第三者割当による自己株式200,000株の処分を実施いたしました。これにより、当中間会計期間において自己株式が131,000千円の減少となり、資本剰余金が130,800千円減少しております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、ライフスタイル商品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	25,673千円	38,589千円